

東日本大震災広島中央保健生協支援対策ニュース

NO. 9 2011.3.24 8:30 発 広島中央保健生協対策本部

1. 医療支援第2陣 3月30日(水)～4月4日(月)

- 1) 引き続き自主的な支援希望者を募り医療支援を進めます。
 - 第2陣 福山院長(生協さえき病院)、野田看護師長(生協さえき病院 4階病棟師長)、万徳検査技師(福島生協病院検査科) 3月30日(水)～4月4日(月)
 - 新幹線で東京の全日本民医連事務所まで行き、そこから全日本民医連の支援バスに乗って現地に入ります。支援者は別紙の全日本民医連「東日本大震災 全日本民医連支援ニュースNo.15」(3/22付け)と全日本民医連災害対策本部の「支援者の皆様へ、全日本民医連からの支援提起バスの運行などについて」(3/19付け)を読んでください。
 - 歯科も支援の準備を共立歯科と相談して準備中です。
- 2) 医療支援者の年齢制限について
 - 全日本民医連は支援者の年齢制限を解除しましたが、当生協では原発事故の状況を踏まえつつ、当面、管理部と対策本部が選定する支援派遣者は40歳以上とします。
 - 支援希望者については、支援が中長期化することが予測され、引き続き支援希望を募ります。職場長を通じて管理部に希望を伝えてください。
 - 藤原副理事長が全日本民医連被ばく対策副本部長に。今週土曜・日曜で福島県に入る予定。
- 3) 医療支援の第3陣は 4月4日(月)から約一週間を予定します！
- 4) 3月22日(火曜)夕方の時点で医療支援希望者は20名です。
 - 福島生協病院：医師3名、理学療法士1名、看護師6名、検査技師2名、放射線技師1名
 - 生協さえき病院：医師1名、看護師1名、事務1名
 - 訪問看護ステーションコープ五日市：看護師1名
 - 地域包括支援センター：1名、総務部1名、本部：1名

2. 支援物資は医療福祉生協連の必要とするものに限りです。

- 1) 衣類等の支援物資は当面中止します。医療福祉生協連の指定するものを送ります。
 - 水曜日と木曜日に提出していただく支援物資は別紙「支援必要物資 20110323」をお願いします。
- 2) 支援物資は日本医療福祉生協連の物資支援センター(新潟)を通じて、郡山医療生協、福島医療生協、福島中央市民生協に届けます。
 - 第1陣が当生協のチャーターしたレンタカーで広島から仙台まで直接支援物資を届けましたが、今後は医療福祉生協連の物資支援センターを通じて送ります。

3. 22日火曜日にカンパ約150万円を送金しました！

引き続き職員一人1日分の給与を目安にカンパを！

- 各職場は取りまとめて事業所管理部の震災担当者へ、各事業所は毎週火曜日に総務へ集めたカンパを持参下さい。

以上